



第2期まちづくり総合計画の策定

未来につなげるまちづくりスタート

■問合せ 企画防災課企画グループ 電話 74-3004

平

成29年度から平成38年度まで、10年間のまちづくりの新たな指針となる第2期まちづくり総合計画が、12月14日の町議会12月会議において議決されました。

その概要をお知らせします。まちづくり総合計画は、町の根幹となる将来計画で、現在の総合計画は洞爺湖町誕生後1年間の検討期間を経て策定され、今年3月までの計画となっています。

これに続く第2期の総合計画では、町民の皆さんとともに策定を進めるため、住民意見交換会やパブリックコメントにより寄せられた意見を盛り込み、洞爺湖町まちづくり審議会（構成員18名）の検討を経て、11月22日に町長へこ

■計画の期間

平成29年度から平成38年度まで10年間

これまでの総合計画を継承する基本理念・将来像

●基本理念

1. 交流・連携による活力づくり
2. 安全・健康・環境を重視した健康づくり
3. 協働・自立のまちづくり

●将来像

湖海と火山と緑の大地が結びあい
元氣をつくる交流のまち

将来像の実現に向けまちづくりの柱となる施策の大綱

●施策の大綱

1. 定住施策の充実と交流人口の拡大

人口減少と少子高齢化に向け、まちの魅力と地域資源を活かした交流人口の増加によるにぎわいの創出と雇用の創出、子育て環境の充実など「暮らしやすさ」「暮らしの豊かさ」から「住んで良かった」「住み続けたい」と思えるまちづくりを進めます。

2. 三地域の特性に合った振興策の充実

交通や生活利便施設がある虻田本町地区、噴火遺構や温泉街を有する洞爺湖温泉地区、畑・水田と渚や芸術文化が融合した洞爺地区といった趣の異なる地域があります。多様化する住民ニーズと年齢や家族構成による生活様式の変化もあることから、それぞれの地区の特性を活かしながら、お互いに関わりを持ち、共有していくことで選択の幅が広がり、まち全体の魅力の向上につなげます。



まちづくり総合計画を審議する洞爺湖町まちづくり審議会